

地震工学委員会
平成 25 年度 第 1 回（通算第 155 回）運営幹事会議事録

日時：平成 25 年 4 月 15 日（月）17：10～17：40

場所：土木学会 講堂

出席者：小長井委員長、片岡幹事長、藤原前幹事長

池田、岩田、小野、梶田、鋏田、佐藤、濱野、原田、福武、目黒、吉見各運営幹事、
秋山、中島、山本各前運営幹事、事務局尾崎氏

配布資料：

- 幹 155-01 平成 24 年度 第 8 回運営幹事会 議事録（案）
- 幹 155-02 平成 25 年度 運営幹事会年間計画
- 幹 155-03 平成 25 年度 地震工学委員会運営幹事会 役割分担（案）
- 幹 155-04 「土木学会を知ろう～委員会の紹介～」 ～執筆にあたってのご注意～

議事

1. 前回議事録案の確認

片岡幹事長より資料「幹 155-01」に沿って議事録の説明があり、承認された。

2. 審議事項

(1) 年間スケジュールの確認について

片岡幹事長より資料「幹 155-02」に従い、平成 25 年度の運営幹事会年間計画が説明された。また、藤原前幹事長、秋山前幹事から補足説明が行われた。

- ・5 月に委員会の活動報告書の作成が予定されており、幹事長が対応する。
- ・6 月に行事計画書の取りまとめが予定されており、清田幹事に対応いただく。
- ・昨年度の実績として 9 月以降に委員長選挙関係の記載があるが今年度は選挙は無いこと、来年度予定されているが幹事の交替により選挙関係に携わった経験者が清田幹事と濱野幹事の 2 名となっているため、来年度の幹事の交替を計画的に行う必要がある（藤原前幹事長）。
- ・11 月に国際貢献賞・国際活動奨励賞の推薦があるので計画が必要である（秋山前幹事）。
→推薦は地震工学委員会ではなく、地震工学委員長マターである（小長井委員長）。

(2) 運営幹事会役割分担について

片岡幹事長より、資料「幹 155-03」に従い運営幹事会の役割分担案が説明された。

- ・他の委員会、小委員会の委員を兼任されている方については、関連する役割を担当していただきたい（資料「幹 155-03」で斜体で示された役割）。
- ・豊岡幹事は所属先業務の関係で 10 月まで活動が難しいので、当面は比較的負担が少ない役割を担当していただく。
- ・梶田幹事にはウェブサイトに掲載する資料の原本管理も併せて担当していただく。
- ・濱野幹事から研究会企画担当にもう一名担当者を追加してほしいとの意見があり、福武幹事が研究会企画担当（補佐）を行うことになった。
- ・藤原前幹事長から小委員会担当は突発的事項対応として 1 名追加した方が良いとの意見があり、池田幹事が担当することになった。

- ・中島前幹事の交替により、原子力土木委員会の委員を兼任した幹事が不在となったため、原子力土木委員会の連絡窓口を中島前幹事に引き続き担当いただくことになった。中島前幹事から、原子力土木委員会は多数の委員が交替する可能性があり、委員から退任する場合には適切な方に変更してほしいとの意見があった。
- ・銚田幹事から英文論文集の震災特集号招待論文への推薦論文として 10 編候補があると連絡を受けたが論文が提出されていないとの報告があった。小長井委員長より推薦は行ったが、論文編集委員会から執筆依頼が来ていないため執筆していないとの回答があり、銚田幹事が英文論文集編集委員会の高橋委員長に確認することになった。

(3) 「土木学会を知ろう～委員会の紹介～」執筆について

片岡幹事長、藤原前幹事長より、資料「幹 155-04」に従い説明が行われた。内容は、活動実績を中心とし、GW 明けを目途に藤原前幹事長がたたき台を作成することになった。原稿締め切りは 6 月 15 日である。

(4) 小委員会への予算配分手続き、論文賞への対応案、行事計画書対応案について

片岡幹事長の説明に従い審議が行われた。

1)小委員会への予算配分手続きについて

- ・小委員会の予算配分手続きについては、例年 6 月の運営幹事会で審議しているため、岩田幹事が GW 明けに各小委員会の希望をとることになった。
- ・予算配分の希望をとる際に、地震防災技術普及小委員会に、地震防災技術懇話会の取り扱いの意向を確認することになった。

2)論文賞への対応案について

- ・片岡幹事長、銚田幹事が 6 月以降に推薦依頼を待って対応することになった。

3)行事計画書対応案について

- ・清田幹事が各小委員会と連絡を取って対応することになった。

(5) その他

- ・地震工学委員会平成 25 年度第 1 回定例委員会総会で水循環 NW 災害軽減対策研究小委員会から報告のあった、第 2 回地震・津波に関するシンポジウムについて、開催方法（寒地土木研究所との共催）について小長井委員長から質問が出され、土木学会尾崎氏から土木学会の行事としては共催は不可能であるとの回答が出された。なお、報告者の竹内顧問には回答済みであるが、再度尾崎氏から伝えることになった。
- ・小長井委員長より、総会における小委員会報告において、いくつかの事項については地震工学委員会の承認が必要と考えられるものがあった。小委員会からの発信内容のチェック方法を検討する必要があるとの意見が出された。運営幹事会で検討することになった。

(6) 次回予定

日時：6 月 11 日（火）、15 時～16 時 拡大運営幹事会、16 時～18 時 運営幹事会

場所：土木学会会議室

以上（記録：池田）